

【樹木の部屋】

スズカケノキ（スズカケノキ科スズカケノキ属）（*Platanus orientalis*）

和名；スズカケノキ(鈴掛の木、篠懸の木) **別名**；モミジバスズカケノキ、プラタナス

英名；oriental planetree、Oriental Plane

ヤマモガシ目 落葉高木

原産地；ヨーロッパ南東部～アジア西部 **花言葉**；天稟、天才、非凡 **花の色**；淡黄緑



写真－1 スズカケノキの樹形

撮影日：2013年6月22日

撮影場所：奈良市平城2号公園にて

撮影者：Mさん

スズカケノキ。垂れ下がる集合果を、山伏が身につける鈴懸に例えたものだそうです。プラタナス（学名：*Platanus*）は、スズカケノキ科スズカケノキ属に属する植物の総称で。成長が早いため、街路樹・庭園樹として広く用いられ、樹高は約10～30mにも・・・樹皮が、斑に剥げる特徴があるので落葉期でも見分けられます。雌雄同株、雌雄異花。

写真－2 スズカケノキの葉 →

撮影日：2013年6月22日

撮影場所：奈良市平城2号公園にて

撮影者：Mさん



葉は大きく、カエデに似ていて、掌状に5～7裂し、裂片には鋸歯がある。葉柄の基部に小さい托葉がある。花期は春で、花は淡黄緑色で、雌花、雄花を、別々の葉のつけ根の頭状花序につける。

← **写真－3** スズカケノキの葉と実

撮影日：2013年6月22日

撮影場所：奈良市平城2号公園にて

撮影者：Mさん

【樹木の部屋】

<ちょっと一言>

日本では街路樹として、属の学名であるプラタナスと呼ばれることが多いですが、スズカケノキとアメリカスズカケノキとの雑種のモミジバスズカケノキが多く使われているようです。プラタナスと呼ばれる木は、スズカケノキ（鈴懸の木）、アメリカスズカケノキ（亜米利加鈴懸の木）、モミジバスズカケノキ（紅葉葉鈴懸の木）の三種類です。

その見分け方は・・・

- ・モミジバスズカケノキ⇒集合果が果軸に 2, 3 個（まれに 1 個か 4 個）つく。
- ・アメリカスズカケノキ⇒集合果が果軸に 1 個つく。
- ・スズカケノキ⇒集合果が果軸に 3 ～ 5 個つく。日本には少ないそうです。

紹介した写真は、集合果が果軸に 2 個ついているのでモミジバスズカケノキのようです。
(写真 - 3)

世界の 5 大並木樹

ボダイジュ(菩提樹)、ニレ(榆)、トチノキ(栃の木)、ポプラ、スズカケノキ（鈴掛けの木）。